


期間 令和7年1月23日(木)～令和7年2月27日(木) [全6回]

実施場所 八幡西生涯学習総合センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 (37ページアクセス参照)

申込・問合せ先 八幡西生涯学習総合センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3
TEL:641-9360 FAX:641-9332

時間 14:00～16:00

応募締切

12月25日(水)

 スマートフォンからも
お申込みできます▶

定員 20名

受講料 2,000円

**受講生への
メッセージ**

コーディネーター：公益社団法人 北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 宮崎 浩

障害について考えるとき、「障害」は、個人の心身にあるという「個人モデル」から社会の仕組みにあるという「社会モデル」の方に視点が移ってきました。

では、障害のある人が生活していく上での障壁(バリア)はどこにあるのでしょうか？ また、どうすればこれらの障壁を取り除くこと(フリー)ができるのでしょうか？

今年度から義務化された「合理的配慮の提供」。いろいろな障害のある人々からのメッセージを聞いて、それぞれが抱える課題を学びます。

バリアフリーな社会について一緒に考えてみませんか。

宮崎 浩

障害福祉に関する活動以外に子ども専用電話「チャイルドライン」の運営などの活動をしています。保育園から老人ホームまで、長年社会福祉に携わったキャリアを活かし様々なボランティア活動をコーディネートしています。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	1/23 (木)	こんな社会になったらいいな ～車いすから描く理想の社会～	NPO法人 北九州自立生活センター 代表 林 芳江
2	1/30 (木)	聞いて・触れて・感じて ～視覚障害のある人の日常生活～	福岡県視覚障害者 友好協会 北九州支部 副支部長 高崎 和子
			ガイドボランティアサークル ゆう・あい 代表 榎 正寿
3	2/6 (木)	子と親と社会をつなぐ ～医療的ケア児童と母親からのメッセージ～	北九州医療的ケア児者 家族会 代表 田中 幸子
4	2/13 (木)	障がいっ子と親が取り残されない社会へ ～自閉症児童と母親からのメッセージ～	障がい者団体 レインボーミル 代表 木村 愛美
5	2/20 (木)	住みやすい社会って何だろう？ ～障害のある人と社会をつなぐ～	公益社団法人 福岡県社会福祉士会 北九州ブロック 幹事長 安田 征司
6	2/27 (木)	バリアフリーな社会をめざして ～合理的配慮の提供を体験～	公益社団法人 北九州市障害福祉 ボランティア協会 理事 竹田 英樹

スポット受講
詳細は2ページ
料金
1,000円/回
1回限り